

## 11年間の主要財務データ

日本ペイントホールディングス株式会社および連結子会社

当社は、2016年12月期より決算期を3月31日から12月31日に変更しており、2016年12月期は2016年4月1日～12月31日の9ヵ月間を連結対象期間としています。当社は、2018年12月期の年間決算より国際財務報告基準(IFRS)を適用しており、IFRSに準拠した数値を記載しています。

財務指標	日本基準						
	2012/3	2013/3	2014/3	2015/3	2016/3	2016/12	2017/12
<b>会計年度</b> (百万円)							
売上高	222,256	233,380	260,578	260,590	535,746	470,161	605,252
売上総利益	73,329	82,038	93,640	92,550	223,343	204,875	245,196
営業利益	16,323	25,860	33,387	33,751	71,352	72,489	74,957
当社株主に帰属する当期純利益	12,312	20,018	32,156	181,477	30,020	34,788	37,123
EBITDA <sup>※3</sup>	24,626	33,093	40,438	40,722	97,885	95,382	104,405
設備投資額	3,553	5,107	5,980	5,130	19,034	21,019	24,814
減価償却費	8,302	7,233	7,051	6,970	26,533	22,892	29,447
研究開発費	6,573	6,018	5,915	5,987	15,177	12,037	14,814
<b>キャッシュ・フロー</b> (百万円)							
営業活動によるキャッシュ・フロー	22,483	31,848	26,920	34,419	63,101	77,916	79,265
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,713	△6,918	△7,173	△86,966	△5,308	△42,697	△100,680
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11,942	△18,744	△21,034	85,298	△24,699	△8,583	△11,434
フリー・キャッシュ・フロー	18,769	24,929	19,746	△52,547	57,793	35,218	△21,414
<b>会計年度末</b> (百万円)							
資産合計	274,105	287,992	324,028	810,727	791,459	827,996	920,591
負債合計	128,723	115,967	116,312	220,804	223,710	242,238	291,182
当社株主資本	149,784	166,881	188,782	465,513	474,989	496,944	521,040
純資産合計	145,382	172,024	207,715	589,923	567,748	585,757	629,408
ネット・デット <sup>※4</sup>	4,898	△18,582	△30,844	△105,959	△102,442	△140,895	△72,866
<b>1株当たり情報</b> (円)							
1株当たり当社株主に帰属する当期純利益 (EPS) <sup>※6</sup>	46.51	75.62	122.47	650.04	93.61	108.48	115.76
1株当たり純資産 (BPS)	514.45	609.20	746.25	1,496.16	1,464.06	1,475.93	1,572.60
1株当たり年間配当金	9.00	14.00	20.00	22.00	35.00	40.00	42.00
<b>財務指標</b>							
営業利益率 (%)	7.3	11.1	12.8	13.0	13.3	15.4	12.4
EBITDAマージン (%)	11.1	14.2	15.5	15.6	18.3	20.3	17.2
自己資本利益率 (ROE) (%)	9.3	13.5	18.1	53.8	6.3	7.4	7.6
総資産利益率 (ROA) (%)	4.6	7.1	10.5	32.0	3.8	4.3	4.3
投下資本利益率 (ROIC) (%) <sup>※7</sup>	6.9	11.3	15.2	9.5	10.3	11.7	11.5
D/Eレシオ (倍)	0.30	0.16	0.09	0.06	0.09	0.10	0.14
ネットD/Eレシオ (倍)	0.04	△0.12	△0.16	△0.22	△0.22	△0.30	△0.14
配当性向 (%) <sup>※8</sup>	—	—	—	—	27.8	29.1	27.6
株主総利回り (TSR) (%)	—	—	—	—	—	—	113.2
株価収益率 (PER) (倍)	13.5	12.4	12.8	6.8	26.7	29.4	30.8
株価純資産倍率 (PBR) (倍) <sup>※9</sup>	1.2	1.5	2.1	2.9	1.7	2.2	2.3
ネット・デット/EBITDA	0.2	△0.6	△0.8	△2.6	△1.1	△1.5	△0.7

※1 欧州自動車用事業・インド事業に関しウットラムグループへの譲渡 (2021年8月10日発表) に伴い非継続事業へ分類したこと、2021年第4四半期よりクラウドコンピューティング契約に関する会計方針を変更したことに伴い、2020年度・2021年度の遡及修正を実施

※2 2022年第2四半期より、IAS第29号に従いトルコ子会社に対する超インフレ会計を適用開始。2022年度は適用後の数値

※3 EBITDA: 営業利益+減価償却費及び償却費+減損損失+負のれん発生益

※4 ネット・デット: 有利子負債 (社債及び借入金 (流動: 非流動) + その他の金融負債 (流動: 非流動)) - 手元流動性 (現金及び現金同等物 + その他の金融資産 (流動))

※5 2021年3月31日を基準日および2021年4月1日を効力発生日として、普通株式1株につき5株の割合で株式分割を実施。

1株当たり情報 (EPS, BPS) は2018年度期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定。2020年度の1株当たり年間配当金は株式分割前の実績

詳細は、「P51「中期経営計画(2021-2023年度)の概要と進捗」をご覧ください。

IFRS	※1					※2
	2018/12	2019/12	2020/12	2021/12	2022/12	
<b>会計年度</b> (百万円)						
売上収益	627,670	692,009	772,560	998,276	<b>1,309,021</b>	
売上総利益	242,164	275,649	321,224	378,323	<b>487,534</b>	
営業利益	86,542	78,060	87,594	87,615	<b>111,882</b>	
親会社の所有者に帰属する当期利益	45,351	36,717	43,921	67,569	<b>79,418</b>	
EBITDA <sup>※3</sup>	104,965	115,145	117,312	120,421	<b>159,863</b>	
設備投資額	22,453	35,263	36,767	49,513	<b>49,820</b>	
減価償却費	18,390	25,769	29,446	33,889	<b>47,116</b>	
研究開発費	16,997	17,416	17,462	24,251	<b>28,106</b>	
<b>キャッシュ・フロー</b> (百万円)						
営業活動によるキャッシュ・フロー	61,533	92,076	87,633	67,428	<b>112,351</b>	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△37,439	△352,769	△35,440	△102,355	<b>△165,107</b>	
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,228	254,018	60,869	△62,309	<b>145,767</b>	
フリー・キャッシュ・フロー	24,093	△260,693	52,192	△34,927	<b>△52,756</b>	
<b>会計年度末</b> (百万円)						
資産合計	953,988	1,478,646	1,614,580	1,955,083	<b>2,442,340</b>	
負債合計	306,370	790,667	915,578	986,388	<b>1,286,982</b>	
親会社の所有者に帰属する持分	520,047	552,922	567,594	959,518	<b>1,148,824</b>	
資本合計	647,618	687,979	699,002	968,694	<b>1,155,358</b>	
ネット・デット <sup>※4</sup>	△89,335	310,890	309,162	429,287	<b>574,386</b>	
<b>1株当たり情報</b> (円) <sup>※5</sup>						
1株当たり親会社の所有者に帰属する当期利益 (EPS) <sup>※6</sup>	28.28	22.90	27.38	29.41	<b>33.82</b>	
1株当たり純資産 (BPS)	324.31	344.75	353.80	408.61	<b>489.19</b>	
1株当たり年間配当金	9.00	9.00	9.00	10.00	<b>11.00</b>	
<b>財務指標</b>						
営業利益率 (%)	13.8	11.3	11.3	8.8	<b>8.5</b>	
EBITDAマージン (%)	16.7	16.6	15.2	12.1	<b>12.2</b>	
自己資本利益率 (ROE) (%)	8.8	6.8	7.8	8.8	<b>7.5</b>	
総資産利益率 (ROA) (%)	4.8	3.0	2.8	3.8	<b>3.6</b>	
投下資本利益率 (ROIC) (%) <sup>※7</sup>	11.5	7.1	6.8	5.7	<b>5.4</b>	
D/Eレシオ (倍)	0.19	0.90	1.07	0.63	<b>0.73</b>	
ネットD/Eレシオ (倍)	△0.17	0.56	0.54	0.45	<b>0.50</b>	
配当性向 (%) <sup>※8</sup>	31.8	39.3	32.9	34.0	<b>32.5</b>	
株主総利回り (TSR) (%)	106.7	160.7	321.6	181.1	<b>152.5</b>	
株価収益率 (PER) (倍)	26.6	49.3	82.8	42.6	<b>30.7</b>	
株価純資産倍率 (PBR) (倍) <sup>※9</sup>	2.3	3.3	6.4	3.1	<b>2.1</b>	
ネット・デット/EBITDA	△0.9	2.7	2.6	3.6	<b>3.6</b>	

※6 1株当たり当社株主に帰属する当期純利益 (EPS)、1株当たり親会社の所有者に帰属する当期利益 (EPS) は、発行済株式総数から自己株式数を控除して計算

※7 ROIC (日本基準): 税引後営業利益 ÷ (ネット・デット+純資産合計) ROIC (IFRS): 税引後営業利益 ÷ (ネット・デット+資本合計)

※8 2017年度の配当性向は、日本基準数値にのれん償却額を調整し、算定

※9 PBR: 株価 ÷ 1株当たり純資産 (BPS)

## 11年間のセグメント別データ

日本ペイントホールディングス株式会社および連結子会社

当社は、2016年12月期より決算期を3月31日から12月31日に変更しており、2016年12月期は2016年4月1日～12月31日の9ヵ月間を連結対象期間としています。

旧セグメント

地域別	日本基準						
	2012/3	2013/3	2014/3	2015/3	2016/3	2016/12	2017/12
<b>日本</b>							
売上高 (億円)	1,723	1,745	1,875	1,872	1,743	1,279	1,759
営業利益 (億円)	153	224	270	264	292	243	306
従業員数 (名)	3,139	3,074	2,983	2,886	2,935	3,005	3,013
<b>アジア</b>							
売上高 (億円)	324	371	457	439	3,174	2,975	3,470
営業利益 (億円)	14	24	43	45	377	433	408
従業員数 (名)	2,057	2,173	2,214	12,282	12,617	12,793	14,449
<b>NIPSEA中国</b>							
売上高 (億円)	—	—	—	—	—	—	—
営業利益 (億円)	—	—	—	—	—	—	—
<b>NIPSEA中国以外</b>							
売上高 (億円)	—	—	—	—	—	—	—
営業利益 (億円)	—	—	—	—	—	—	—
<b>オセアニア</b>							
売上高 (億円)	—	—	—	—	—	—	—
営業利益 (億円)	—	—	—	—	—	—	—
従業員数 (名)	—	—	—	—	—	—	—
<b>米州</b>							
売上高 (億円)	151	191	236	258	332	322	682
営業利益 (億円)	△3	9	20	27	52	51	32
従業員数 (名)	510	585	502	525	536	627	2,407
<b>その他</b>							
売上高 (億円)	25	27	38	37	109	126	141
営業利益 (億円)	△0	△1	1	1	△9	△4	2
従業員数 (名)	56	56	56	87	410	447	388

事業別	2012/3	2013/3	2014/3	2015/3	2016/3	2016/12	2017/12
<b>売上高 (億円)</b>							
自動車用事業	724	813	925	934	1,388	1,290	1,484
汎用 (建築・重防食) 事業	398	438	501	458	2,534	2,262	3,088
工業用事業	421	436	476	464	683	584	730
ファインケミカル事業	134	130	146	155	174	156	189
その他 (船舶・自動車補修等) 事業	545	517	558	595	580	409	560

※1 日本セグメントの営業利益は、海外グループ会社からの受取配当金を控除

※2 欧州自動車用事業・インド事業に関しウットラムグループへの譲渡 (2021年8月10日発表) に伴い非継続事業へ分類したこと、

2021年第4四半期よりクラウドコンピューティング契約に関する会計方針を変更したことに伴い、2020年度・2021年度の遡及修正を実施

※3 新セグメント区分での日本セグメントには、船舶用の海外事業を含む

当社は、2018年12月期の年間決算より国際財務報告基準 (IFRS) を適用しており、IFRSに準拠した数値を記載しています。

当社は、2022年12月期より経営管理単位または地域別のセグメント区分に変更しています。

旧セグメント

IFRS	※1	※1	※2	※2
	2018/12	2019/12	2020/12	2021/12
<b>日本</b>				
売上収益 (億円)	1,828	1,826	1,620	1,646
営業利益 (億円)	296	234	161	103
従業員数 (名)	3,223	3,373	3,510	3,294
<b>アジア</b>				
売上収益 (億円)	3,557	3,592	3,545	5,302
営業利益 (億円)	524	508	553	609
従業員数 (名)	14,287	14,303	15,354	18,253
<b>NIPSEA中国</b>				
売上収益 (億円)	2,517	2,575	2,681	3,791
営業利益 (億円)	384	401	439	359
<b>NIPSEA中国以外</b>				
売上収益 (億円)	1,041	1,017	864	1,511
営業利益 (億円)	140	107	114	250
<b>オセアニア</b>				
売上収益 (億円)	—	476	1,483	1,762
営業利益 (億円)	—	59	154	190
従業員数 (名)	—	3,735	3,826	3,927
<b>米州</b>				
売上収益 (億円)	752	746	701	764
営業利益 (億円)	50	50	45	36
従業員数 (名)	2,492	2,640	2,581	2,576
<b>その他</b>				
売上収益 (億円)	139	280	376	508
営業利益 (億円)	△5	△70	54	71
従業員数 (名)	400	1,919	2,047	1,793
<b>全社 (共通) ※5</b>				
従業員数 (名)	—	—	—	404

売上収益 (億円)	※2	※2	※2	※2
	2018/12	2019/12	2020/12	2021/12
塗料・コーティング事業	6,277	6,665	6,959	8,993
自動車用事業	1,602	1,496	1,135	1,327
汎用 (建築・重防食) 事業	3,225	3,707	4,409	6,071
工業用事業	688	702	691	848
ファインケミカル事業	194	189	156	164
その他 (船舶・自動車補修等) 事業	568	570	567	583
塗料周辺事業	—	255	767	990

※4 2022年第2四半期より、IAS第29号に従いトルコ子会社に対する超インフレ会計を適用開始。2022年度は適用後の数値

※5 日本ペイントホールディングス (NPHD) の従業員数は2021年度より、従来の日本セグメントから「全社 (共通)」に変更。

なお、持株会社と国内機能会社の分社化に伴い、NPHDの従業員が日本ペイントコーポレートソリューションズ (NPCS) に転籍。

2022年度より、NPCSの従業員数は日本セグメントに組み入れ

新セグメント  
IFRS

IFRS	※2	
	2021/12	2022/12
<b>日本 ※3</b>		
売上収益 (億円)	1,740	<b>1,861</b>
営業利益 (億円)	95	<b>53</b>
従業員数 (名)	—	<b>3,612</b>
<b>NIPSEA ※4</b>		
売上収益 (億円)	5,716	<b>7,085</b>
営業利益 (億円)	688	<b>727</b>
従業員数 (名)	—	<b>19,819</b>
<b>NIPSEA中国</b>		
売上収益 (億円)	3,791	<b>4,507</b>
営業利益 (億円)	359	<b>349</b>
<b>NIPSEA中国以外 ※4</b>		
売上収益 (億円)	1,925	<b>2,578</b>
営業利益 (億円)	330	<b>378</b>
<b>DuluxGroup</b>		
売上収益 (億円)	1,762	<b>3,149</b>
営業利益 (億円)	190	<b>297</b>
従業員数 (名)	—	<b>7,851</b>
<b>米州</b>		
売上収益 (億円)	764	<b>995</b>
営業利益 (億円)	36	<b>81</b>
従業員数 (名)	—	<b>2,430</b>
<b>全社 (共通) ※5</b>		
従業員数 (名)	—	<b>51</b>

売上収益 (億円)	※2	※2
	2021/12	2022/12
塗料・コーティング事業	8,993	<b>11,740</b>
自動車用事業	1,327	<b>1,638</b>
汎用 (建築・重防食) 事業	6,071	<b>8,275</b>
工業用事業	848	<b>954</b>
ファインケミカル事業	164	<b>189</b>
その他 (船舶・自動車補修等) 事業	583	<b>682</b>
塗料周辺事業	990	<b>1,351</b>

詳細は、P51「中期経営計画 (2021-2023年度) の概要と進捗」をご覧ください。

## 主要非財務データ

非財務指標	2018/12	2019/12	2020/12	2021/12	2022/12
<b>人材・組織(人的資本)</b>					
取締役人数(名) <sup>※1</sup>	10	11	9	8	11
社外取締役比率(%) <sup>※1</sup>	50.0	45.5	66.7	75.0	72.7
連結従業員数(名)	20,402	25,970	27,318	30,247	33,763
海外従業員比率(%)	84.2	87.0	87.2	87.8	89.2
女性従業員比率(グローバル)(%)	—	—	24.0	25.9	26.6
女性幹部職比率(グローバル)(%)	—	—	23.8	23.0	24.8
女性幹部職比率(日本グループ)(%) <sup>※2</sup>	4.1	4.3	4.9	6.2	5.4
男性育児休業取得比率(日本グループ)(%)	—	—	6.8	16.0	51.4
従業員・請負業者の休業災害度数(グローバル)(20万労働時間当たり) <sup>※3</sup>	—	0.51	0.39	0.38	0.50
記録災害度数率(グローバル)(20万労働時間当たり) <sup>※3</sup>	—	1.29	1.08	0.91	0.90
死亡災害件数(グローバル)(件) <sup>※3</sup>	0	0	0	2	0
従業員満足度(日本グループ)(%)	82	83	90	89	81
<b>技術(製造資本)</b>					
新製品売上高指数(NPSI)(NIPSEA中国と日本グループの合計)(%)	—	—	—	21.1	20.0
技術系人材(グローバル)(名)	3,085	3,545	3,873	3,421	3,895
特許登録件数(グローバル)(件)	—	—	—	1,000	1,508
<b>顧客基盤(社会関係資本)</b>					
建築用塗料事業におけるNo.1シェアの国・地域数	5	8	8	8	13
<b>ブランド(知的資本)</b>					
社会貢献活動に費やしたお金(グローバル)(百万米ドル)	—	—	14.60	7.08	7.75
<b>自然・環境(自然資本)</b>					
温室効果ガス排出量(スコープ1, 2)(グローバル)(kg/生産量t) <sup>※4</sup>	—	54.3	51.1	48.8	55.6
再生可能エネルギー比率(%) <sup>※5</sup>	—	0.1	0.2	0.5	4.6
再生可能電力比率(%) <sup>※5</sup>	—	0.3	0.4	1.0	10.3
温室効果ガス排出量(スコープ1, 2)(日本グループ)(t-CO <sub>2</sub> )	36,430	45,714	42,374	43,016	41,513
温室効果ガス排出量(スコープ3)(日本グループ)(百万t-CO <sub>2</sub> )	—	—	1.0	1.3	1.2
温室効果ガス排出量(スコープ3)(DuluxGroup(太平洋))(百万t-CO <sub>2</sub> )	—	1.0	1.0	1.0	1.0
総エネルギー消費量(グローバル)(GJ/t) <sup>※3</sup>	—	0.47	0.45	0.40	0.51
廃棄物等の発生量(グローバル)(kg/t) <sup>※6</sup>	—	11.3	10.1	11.1	15.9
再資源化(リサイクル・再利用)された廃棄物等の回収量(グローバル)(kg/t) <sup>※7</sup>	—	6.0	4.5	4.5	6.3
リサイクル比率(グローバル)(%) <sup>※7</sup>	—	53	45	41	42
有害廃棄物比率(グローバル)(%) <sup>※6</sup>	—	45	42	37	33
取水量(グローバル)(kL/生産量t) <sup>※3</sup>	—	0.69	0.56	0.54	0.58
水消費量(グローバル)(kL/生産量t) <sup>※6</sup>	—	0.44	0.33	0.36	0.39
建築用塗料事業における水性塗料割合(グローバル)(%) <sup>※8</sup>	83.8	86.7	87.5	89.9	82.2

※1 当期中に開催された定時株主総会終了後に就任した取締役数。ただし、2021年度は2021年4月28日以降の取締役数  
 ※2 日本ペイントホールディングス(NPHD)を含む  
 ※3 日本グループ、NIPSEAグループ、DuluxGroup(Cromology、JUBIは2022年～)、Dunn-Edwardsが対象  
 ※4 日本グループ、NIPSEAグループ、DuluxGroup(Cromologyは2022年～、JUBIは除く)が対象  
 ※5 日本グループ、NIPSEAグループ、DuluxGroup(Cromology、JUBIは2022年～)が対象  
 ※6 日本グループ、NIPSEAグループ、DuluxGroup(Cromology、JUBIは2022年～)、Dunn-Edwards(2020年～)が対象  
 ※7 日本グループ、NIPSEAグループ、DuluxGroup(Cromologyは除く、JUBIは2022年～)、Dunn-Edwards(2020年～)が対象  
 ※8 2018～2021年は水性塗料出荷量(万トン)÷総出荷量(万トン)で計算。2022年からは水性塗料販売量(トン)÷総販売量(トン)で計算。日本ペイント(NPTU)、NIPSEAグループ、Dunn-Edwards、DuluxGroup(2019年～)、Cromology、JUBI(ともに2022年～)が対象

## インデックスへの組み入れ状況・外部評価

**総合**

「MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数」の構成銘柄に2年連続で選定(2023年6月)

**2023 CONSTITUENT MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数**

「FTSE4Good Index Series」  
「FTSE Blossom Japan Index」の構成銘柄に2年連続で選定(2023年6月)  
「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」の構成銘柄に2年連続で選定(2023年6月)



「SOMPOサステナビリティ・インデックス」の構成銘柄に12年連続で選定(2023年6月)



**人材・組織**

「Morningstar Japan ex-REIT Gender Diversity Tilt Index」の構成銘柄に初選定(2023年6月)



「MSCI日本株女性活躍指数(WIN)」の構成銘柄に4年連続で選定(2023年6月)

**2023 CONSTITUENT MSCI日本株女性活躍指数(WIN)**

**技術**

環境色彩コンペティション「第25回グッド・ペインティング・カラー(GPC)」の改修部門と内装部門で「特別賞」を受賞(2023年1月)

「高耐久性道路用遮熱塗料」の開発技術で「2020年環境技術賞」を受賞(2021年5月)

船底防汚塗料「アクアテラス」が環境賞「GREEN4SEA TECHNOLOGY AWARD」を受賞(2021年4月)



**社外パートナー**

トヨタホーム株式会社の「品質管理特別優秀賞」を12年連続で受賞(2023年5月)

**顧客基盤**

「中国の不動産開発企業トップ500が選ぶ塗料ブランド」で12年連続1位を獲得(2023年3月)

「2022年全国消費会議」で「全国消費・影響力のあるブランド」に選定(2022年12月)

**ブランド**

ブランドファイナンスの「世界で最も価値のある塗料ブランドトップ10」に「Nippon Paint」ブランドが2年連続で選出(2023年6月)

「中国ブランド指数(C-BPI)」で壁面用塗料が7年連続1位、木部用塗料が11年連続1位を獲得(2023年4月)

豪州ブランド表彰にてDuluxGroupの各種ブランドが1位を獲得(2023年4月)

「中国ブランド指数(C-NPS)」で壁用塗料と木部用塗料が1位を獲得(2023年1月)

**財務基盤**

「JPX日経インデックス400」の構成銘柄に9年連続で選定(2023年8月)



「JPXプライム150指数」の構成銘柄に選定(2023年5月)

**自然・環境**

「S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数」に6年連続で選定(2023年6月)



企業・株式・格付・株価情報 (2022年12月31日現在)

企業情報

商号	日本ペイントホールディングス株式会社	創業	1881年3月14日
本社	東京本社 〒104-0031 東京都中央区京橋1-7-2 ミュージアムタワー京橋 14階 TEL：03-6433-0711 大阪本社 〒531-8511 大阪府大阪市北区大淀北2-1-2 TEL：06-6458-1111	資本金	6,714億3千2百万円
		従業員数	連結：33,763人
		事業年度	1月1日から12月31日

株式情報 (2022年12月31日現在)

発行可能株式総数	5,000,000,000株
発行済株式総数	2,370,512,215株
株主数	16,109名

所有者別分布状況 (株式数比率)

● 外国法人等	79.69%
● 金融機関	12.91%
● 個人・その他	3.79%
● その他の法人	2.91%
● 金融商品取引業者	0.70%

※ 自己株式22,036,217株は「個人・その他」に含めています。



大株主の状況

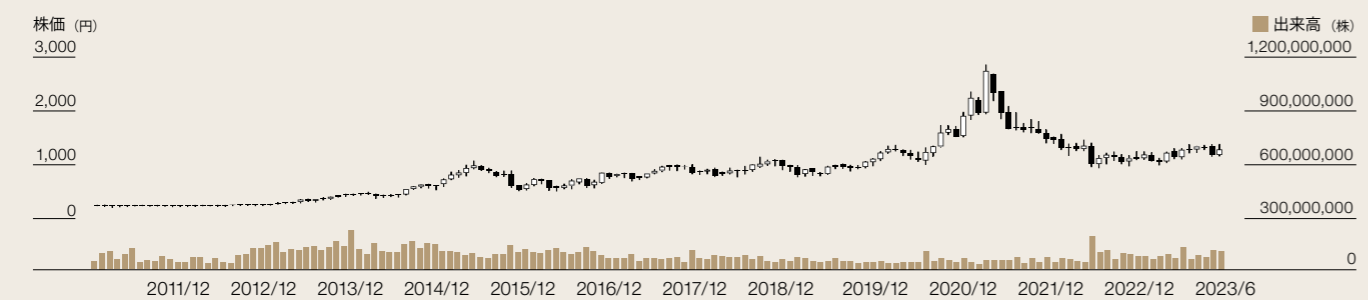
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
Nipsea International Limited	1,293,030	55.05
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	134,787	5.73
Fraser (HK) Limited	85,000	3.61
CLEARSTREAM BANKING S. A.	84,478	3.59
HSBC BANK PLC A/C CLIENTS 3	76,244	3.24
日本生命保険相互会社	51,381	2.18
株式会社日本カस्टディ銀行(信託口)	43,827	1.86
GIC PRIVATE LIMITED - C	41,942	1.78
日本マスタートラスト信託銀行株式会社トヨタ自動車口	25,547	1.08
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	20,973	0.89

※1 持株比率は自己株式22,036,217株を除いて算出しています。  
 ※2 Nipsea International Limitedは、当社取締役ゴー・ハップジン氏がManaging Directorを務めるWuthelam Holdings Ltd.の100%子会社です。  
 ※3 Fraser(HK)Limitedは当社取締役ゴー・ハップジン氏が議決権の過半数を自己の計算において所有している会社(W (BVI) Holdings Limited)の子会社であり、関連当事者に該当します。

格付情報 (2023年6月30日現在)

格付機関名	格付	格付の方向性
格付投資情報センター (R&I)	A	安定的

株価情報



株価・出来高推移

	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
12月末株価(円)	350	704	592	637	713	752	1,128	2,266	1,254	1,039
年間最高値(円)	353	764	972	745	904	1,046	1,270	2,796	2,292	1,314
年間最低値(円)	150	260	407	402	619	668	687	906	1,078	843
年間出来高(株)	1,569,575,000	1,430,850,000	1,094,497,000	1,066,649,000	774,400,000	701,485,000	493,972,000	604,362,500	601,920,600	1,040,218,600

※ 2021年4月1日付で1:5の株式分割を実施したため、2011年1月に行われたものと仮定し、株価・出来高を算出しています。

**Pick up!**  
**当社ウェブサイトのご紹介**

**独立社外取締役への質問**  
 (一問一答)

ガバナンス上の問題、課題

**取締役会の議長として、ガバナンス上の一番の問題、課題は何か?**



当社グループのガバナンス上の最大の課題は、「株主価値最大化(MSV)に向けてタイムリーかつ適切なリスクを執行が果敢に取り続けられるか」にあります。

現在共同社長が推進する「アセット・アsembler」モデルは、以前当社が志向した「蜘蛛の巣型経営」の進化形であり、グループ内の相互信頼に基づく「自律・分散型経営」をベースにMSVを追求するものです。当社はこの経営モデルに基づき、既存ビジネスのさらなる成長に加え、買収による将来の成長機会を求め、優れた経営陣によってけん引される優良なアセットをさらに積み上げていきます。

当社の既存のアセットである各パートナー会社では、共同社長のリーダーシップのもと、昨今の厳しい外部環境下においてもそれぞれの経営陣が敏速に事業を推進しています。私たち取締役会は、この執行からの求めに対し、そのスピードを減速することがなきように十分にその真意を理解し、適切な監督・サポートを続けなければなりません。また、新たなアセットを積み上げる機会を見逃さぬよう、買収戦略について常に執行と意見を交換し、方向性を共有しておくことが不可欠です。既存のアセットの価値向上、新しいアセットの積み上げに向けては、いずれも財務規律を守った上で、資本市場からの理解を醸成することがMSV追求の道であります。

この実現のためには、取締役会における監督と執行の間の信頼関係が最も重要です。指名委員会等設置会社である当社は、大幅に執行へ権限を委譲しており、その前提は自信を持って執行を信頼することにあります。取締役が執行を信頼できなければ、取締役として、監督の責務を果たすためにリスクを細部にわたって把握し対処せざるを得ず、執行への過干渉になり、判断を遅らせ、ひいては成長機会を逃すことにつながります。



続きは、当社ウェブサイト  
**「独立社外取締役への質問(一問一答)」**をご覧ください。



<https://www.nipponpaint-holdings.com/sustainability/governance/q-and-a/>

主なテーマ	内容
「アセット・アsembler」モデル	・「アセット・アsembler」モデルに関して、持株会社は各社に対する健全な牽制とモニタリング機能を担うとの説明だが、健全な牽制機能を発揮するために必要と考えられるものは何か?また、今のリスクマネジメントで見落としているリスクはないのか?
共同社長体制	・共同社長体制を選択した背景や理由、現体制の強みや優れている点についての所感を伺いたい。共同社長体制に移行し、迅速な意思決定は実現できているのか?
独立社外取締役の役割、貢献	・株主の考えを確認することなく「株主の代理人」を務めることは困難であることから、常日頃、どのように株主の意見を汲み上げて独立社外取締役としての活動に反映しているのか? ・執行側が自律型体制への移行によって遠心力を強めて事業展開のスピードアップを目指しているのに対し、独立社外取締役としてどのように戦略や情報を共有しながら、グループ各社の経営をチェックしているのか?